

# 4-1 施設の変状確認結果 (P1堰柱) ①

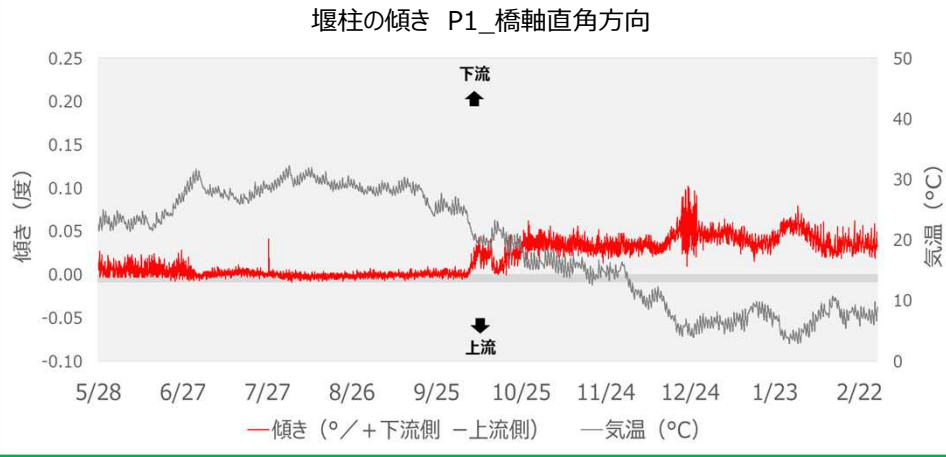
明治用水頭首工の変位状況を把握するため、傾斜計による傾き計測と、測量による変位 (X,Y,Z) 計測を2022年5月28日から現在まで継続観察を実施。特に大きな変状は見られていない。

## 堰柱の変位状況

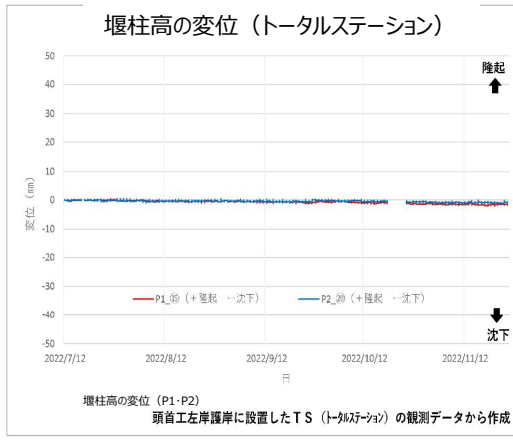
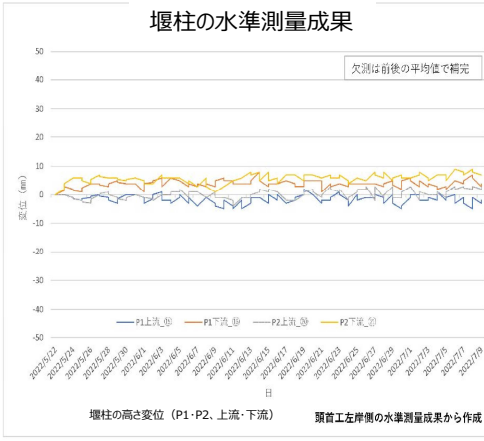
### 傾き

### 変位

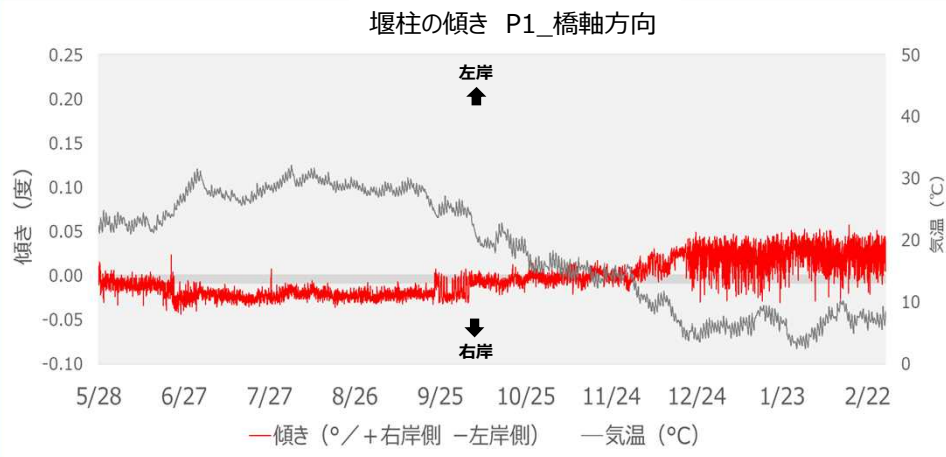
橋軸直角方向



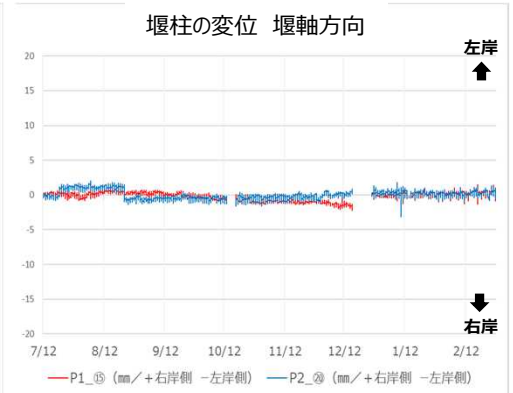
高さ



橋軸方向



水平変位



○測量による変位 (X,Y,Z) 計測を2022年5月28日から水準測量にて、7月12日からTS（トータルステーション）で根固め工事開始まで継続観察を実施。特に大きな変状は見られていない。



図-4.1 洪水吐き堰体の高さ変位（P1～P2、P2～P3）



図-4.2 洪水吐き堰体の高さ変位（P1～P2・P2～P3 隆起・沈下）



図-4.3 洪水吐き堰体の水平変位（P1～P2・P2～P3 橋軸直角方向）



図-4.4 洪水吐き堰体の水平変位（P1～P2・P2～P3 右岸・左岸）

## 4-2 ゲート動作可否の確認結果【②】

○明治用水頭首工の1号洪水吐きゲートについて、現状の開閉動作の可否を確認するため、調査を実施。  
○外観目視では異常はなく、戸当りの計測数値、開閉装置の設置レベルとも施工管理基準値内に収まっていることから、現時点で本ゲートの健全性は問題なく保たれ、使用可能な状態にあると考察される。

### (1) 調査概要

- ・調査日：2023年1月26日(木)
- ・対象設備：洪水吐き1号ゲート（戸当り、開閉装置）

### (2) 調査手法

- ・戸当り計測：施設機械工事等施工管理基準（農林水産省）の許容値内の確認
- ・開閉装置：レベル計測により変状の確認
- ・外観目視：機器全般の目視確認



写真-戸当り写真(施工時)

### (3) 調査結果

- ・戸当り：計測数値は、いずれも施工管理基準値内に収まっている。据付後からの数mmの違いは、計測誤差の範囲内で問題なしと判断される。
- ・開閉装置：閉装置の設置レベルは、施工当時の水平度をほぼ保っており、いずれも施工管理基準値内に収まっている。据付後からの数mmの違いは、計測誤差の範囲内で問題なしと判断される。
- ・外観目視：外観目視で全般にわたり確認し、異常はなし。



写真-開閉装置写真(施工時)